

やすだ のぼる  
**安田 登**  
 能楽師（下掛宝生流：ワキ方）  
 寺子屋 講師 （阿弥陀寺）  
 こどもおばけ合宿 講師 //

主著に『論語』『あわいの時代』『あわいの時代の『論語』ヒューマン2.0』  
 『能 650年続いた仕掛けとは』他多数。

# こままたときのお 親鳥 聖人



イラスト 中川 学

## 「外儀のすがたはひとつに」

お世話をしてくれたように  
 出る態度が気に食わな  
 かったというのです。

老人施設のデイケ  
 アに行った方が、  
 「もう、あんなとこ  
 ろには行かない」と  
 怒って帰ってきました。  
 その方はデイケ  
 アは初めてで、ケア  
 ・マネージャーさん  
 の勧めで行っ  
 たらしいので  
 すが、施設の  
 対応がどうも  
 気に入らな  
 かったよう  
 です。

何もひどい  
 扱いを受けた  
 というわけ  
 ではありません。  
 施設の方も皆  
 さん親切で、  
 親身になって  
 話をしてくれ  
 ました。でも、  
 その端々に  
 出る態度が  
 気に食わな  
 かったという  
 のです。

特に我慢できなかつた  
 のが歌の時間。幼児が歌  
 うような歌を歌わされた。  
 「この年になって、あんな  
 歌を歌わせるのはバカ  
 にしている」と怒って  
 いました。聞くと「むす  
 んでひらいて」や「スズ  
 メの学校」などを歌った  
 うです。「むすんでひら  
 いて」などは指の運動に  
 もなり、脳にもいいと思  
 うのですが、そういうと  
 「年寄りだからとバカに  
 している」とさらに怒り  
 ます。

また、言葉遣いも気に  
 入らないといひます。  
 「〇〇さん、元気？」な  
 どという。「これ、でき  
 る？」などと聞かれる。  
 「お前は俺よりも若いん  
 だから敬語を使え」と思  
 う。これでは子どもに対  
 する言葉遣いだといひ  
 ます。

要は尊敬がないのです。  
 このような言葉遣いを  
 するのは、何も老人施設  
 で働いている方だけでは  
 ありません。病院でもこ  
 のような言葉遣いをされ  
 ることがよくあります。

「それは親しみを込めた  
 話し方なんだから」とい  
 う人もいます。  
 でも、たとえばレスト  
 ランで「ほかに何か注文  
 ある？」と聞かれたり、  
 コンビニで「買うの、買  
 わないの」と聞かれたら、  
 頭にきまずね。親しみを  
 込めているというよりも、  
 自分が下に見られている  
 気がするのです。

年を取ると病院に行く  
 機会が増えます。日々、  
 このような見下されている  
 言葉遣いをされている  
 と、自分が弱者になつた  
 ようで気分が悪いといひ  
 のです。

尊敬は何より大事  
 私は能をしています。  
 先日、舞台が終わったあ  
 とにみんな飲みに行こ  
 うという話になりました。  
 ひとりの方が「この頃、  
 ちよつと調子が悪いから  
 失礼して帰る」と帰られ  
 ると、そのあとで残つた  
 人たちが：  
 「彼はいくつだったけ」  
 「確か八十三歳かな」

「八十代か。まだ若い  
 のに元気がないな」  
 「うん、そうだな」  
 ……などと話してしま  
 した。

能の稽古は、早い子は  
 一歳半くらいから始めま  
 す。遅い子でも六歳には  
 始めるので、八十三歳と  
 いえば稽古を始めて、も  
 う八十年くらい経ってい  
 ます。よく「自分はこの  
 道、四十年」なんて自慢  
 する人がいますが、能の  
 世界では「この道、八十  
 年」なんて人が何人もい  
 ます。それでも「まだ若  
 い」と言われてしまうの  
 です。

数年前に亡くなられた  
 私の師匠は、八十歳のと  
 きにご自分が出演された  
 舞台をテレビで観たとき  
 に、それが思ったよう  
 出来ではなかつたので  
 「引退をしたい」と言ひ  
 されました。すると周  
 りから「若いのに何を言  
 っているんだ」などと言  
 われたのです。

なぜ、そのようなこと  
 を言われるかといえば、  
 それは九十歳を越えても、  
 現役で舞台をつとめて  
 いる方がいらつしやる  
 からです。私は六十四歳  
 ですが、「六十、七十は  
 なたれ小僧」という言葉  
 が、まだ残っています。

それだけではありません。  
 能の世界には「年は  
 取れば取るほど尊敬さ  
 れる」という、昔の日本  
 の風習がまだ残ってい  
 ます。どんなに親切に  
 されても、尊敬されな  
 ければ人は生きがいを  
 失います。同情はむしろ  
 害悪ですらあります。

しかし、じゃあ、私  
 たちが若い頃にお年寄  
 りに対してどうだった  
 かと言われれば、「ちゃん  
 と尊敬をしていた」と胸  
 を張れる人はあまり多  
 くないのではないでし  
 ゃうか。能の世界では、  
 確かに年寄りは尊敬さ  
 れていました。しかし、  
 世間ではそうでもな  
 かつたようです。私は  
 祖父が早く亡くなった  
 ので、両親が

キレイな外面  
 汚れた内面

祖父母に対してどのよう  
な態度を取っていたかの  
記憶はありませんが、友  
人の両親がその祖父母に  
ひどいことを言っていた  
のを見たことは何度もあ  
りました。

人に対しては老人を敬  
えといいながら、自分は  
老人に対してひどいこと  
をする、それが人間なの  
です。

親鸞聖人は次のような  
ご和讃を詠われました。  
外儀のすがたは

ひとごと  
賢善精進現せしむ  
貧嗔邪偽おおきゆえ  
奸詐ももはし

身にみてる

外に現れた姿や顔つき  
は、みな賢くなろう、あ  
るいは善人になろうと努  
力しているように見える。  
しかし、その心の中を見  
て見れば、貪りや怒り、  
あるいは偽りが渦巻いて  
いて、人をあざむいては  
かりいる。そう親鸞聖人  
はおっしゃいます。  
「自分は老人を尊敬し  
ていた」という人こそ、

自分でも気づいてない偽  
りを言っているかもしれ  
ません。

これは私たちのことだ  
けを言っているのではあ  
りません。

親鸞聖人は「愚禿が心  
は、内は愚にして外は賢  
なり」とおっしゃって  
います。自分の内をしっか  
りと顧みれば、やはり怒  
りや妬みが渦巻いて  
いるとおっしゃっています。

親鸞聖人ですらそうです。  
凡夫の私たちならばなお  
さらです。

まずは、それを自覚す  
ることが大切なのです。

### 人工知能は差別する

世間では、若者の早期  
離職が社会問題になって  
います。せっかく就職を  
しても三年以内に会社を  
辞める若者が三割もいる  
というのです。そこで、  
採用担当を人工知能（A  
I）に採用を任せるとい  
う企業が始めています。  
人工知能の優れていると  
ころは、人間よりも素早

く、大量の情報を扱える  
ということ。そして、  
何より疲れを知らない。  
判断できる変数が多いの  
で、就職希望者がその職  
業に向いているかどうか  
も的確に判断できます。

そのようなわけで、アメ  
リカなどでは人工知能に  
よる採用がかなり増えて  
います。

ところがこれには大き  
な問題があることがわか  
ってきました。それは、  
人工知能は人間よりも差  
別的な判断をしてしまう  
というのです。

これは考えてみれば当  
たり前のことです。人工  
知能を設計する人間が差  
別的だからです。それを  
より効率的に行おうとす  
れば、差別はさらに助長  
されます。しかも、自分  
でも気がつかないうちに  
差別をしている。ニュー  
トナルなプログラミング  
をしたつもりでも、無意  
識的に差別的なプログラ  
ミングをしてしまってい  
る。

親鸞聖人がおっしゃる

ように、外側では「賢善  
精進」の人も心の中は「貧  
嗔邪偽」が多く、「奸詐」  
が渦巻いています。

### やはり最後は阿弥陀様

そして、それが人間で  
す。

そこで生まれたのが、  
さまざまな「道徳」でし  
た。たとえば親孝行。こ  
れはよく考えると「自然  
の心性」ではありませ  
ん。親が子を可愛いと思  
うのは、どの動物にもあ  
るの心性です。しかし、  
子どもが親を大事にする  
という動物はそんなには  
いません。

日本の最古の古典のひ  
とつである『古事記』を  
見ても「孝」という文字  
も出て来ませんし、親孝  
行の神様もいません。日  
本だけではありません。  
キリスト教の中にも仏教  
の中にも「孝」という考  
え方はありません。

『旧約聖書』の中のモー  
ゼの十戒の中には「あな  
たの父母を敬え」とい

のがありますが、これは  
『旧約聖書』の原語である  
ヘブライ語で読むと「あ  
なたの父母を畏れよ」で  
「敬う」とは少し違います。

自然の本能のままに従っ  
たら、子どもは親を敬わ  
ない。しかし、だからこ  
そ父母を敬うから人間は  
尊いのです。

自然の本能のままに  
従ったら、社会について  
いけない老人は切り捨て  
られる。老人だけではあ  
りません。生産活動に十  
全に携わらない人たちは  
みな切り捨てられてしま  
います。しかし、いま自  
分がいるのは自分たちを  
生み育ててくれた方たち  
がいたからという理由で  
お年寄りを大切にします。

それができるから人間  
は尊いのです。

そうわかっていても差  
別的な発言をしたらム  
カツときます。だからこ  
その阿弥陀様です。「差  
別をされたな」と感じた  
ら怒りの心の片隅で南無  
阿弥陀仏と唱える。する  
と少し楽になります。

新刊案内  
『別冊NHK 100分de名著  
読書の学校』  
安田登 特別授業『史記』  
「背水の陣」などのさま  
ざまな名言を生んだ中国  
最初の正史『史記』。この  
中国古典を、開成高校の  
高校生に向かって、阿弥  
陀寺の寺子屋で講師をつ  
とめる安田登が授業をし  
ました。そのときの事を  
まとめたのが本書です。

『史記』には「文字が生  
まれた時代」、「心が生ま  
れた時代」、「法が生まれ  
た時代」、「文明が完成し  
た時代」が描かれていま  
す。時代が大きく変わろ  
うとしている現代。まさ  
に何か新しいものが生ま  
れ出ようとしている時代  
です。さまざまなものが  
生まれた時代を描く古典  
を読むことによって、こ  
れから来る時代をも考え  
ることができるようではな  
いか、そう思っただけで  
授業を  
しました。お読みいた  
ければ幸いです。



おしらせ